

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あまーち for ゆう		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な看護師・保育士・理学療法士等専門のスタッフが充実しており、安心・安全な支援ができています。またPTを中心とした専門的支援が実施できています。	始まりの会や終わりの会、スタッフ会議やSNSで情報の共有を図っている。 また、会議で研修を行い各々が自分の支援を振り返り、実践に活かしている。 長期休み時は保育士・児童指導員の5名が日替わりで取り組みを実施している。	色んなスタッフが取り組みに関われるような機会の確保。専門的支援でPTとの情報交換を行い個々のスタッフの子どもへの理解やスキルアップにつなげている。
2	生活介護との交流や地域に向けてのイベントなど、活動内容が豊富である。	最大のニーズである入浴支援を中心に、春秋の遠足・いこいこ水堂祭り・本気で水合戦・夏のプール遊び・秋の味覚市・ミーツザ福祉・クリスマス会・もちつき大会など、生活介護との交流や地域のイベントに参加したり開催している。 また、保護者向けに全体懇談会と個人懇談行っている。	それぞれの活動を職員会議等でフィードバックしながらより充実した内容に改善していく。懇談会はPTが参加し様子を伝えたり、意見交流を行う。

3	<p>広くて清潔な生活空間がある。入浴設備が充実している。</p>	<p>入浴が機械浴やナノミスト浴、個浴の浸かり湯等、バリエーションが豊富で障害に応じて使い分けている。シャワーベッドは老朽化に伴い新しい物を助成し、購入した。</p> <p>和室でリラックスできる環境の中で医療的ケアが実施できている。</p>	<p>よりスペースの確保ができるよう、必要なものを見極めをしていき、不必要なものは極力置かない。必要なものについても軽量化や簡素化を図っていく。</p>
---	-----------------------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>生活介護に移行する（for ゆうからほっとスペース）ための環境・体制の整備</p>	<p>生活介護移行で人員配置の減少により入浴、医療的ケアへの対応等で課題がある。</p>	<p>新たにプロジェクトチームを立ち上げ議論を行っている。</p>
2	<p>経験豊富なスタッフが揃っているが、スタッフの高齢化により今後も豊富なスタッフを維持できるよう対策が必要。</p>	<p>重症児対象の為、既存スタッフだけではケアが追い付かないこともある吸引等ができるスタッフの確保が課題。スタッフの高齢化により身体的介護への負担が増えてきている。</p>	<p>設備の活用をし、負担のない介助を行う。スタッフの確保については求人や紹介等様々な手段で獲得したい。</p>
3			